

「安来市都市計画マスタープラン」について、以下のとおり一部修正を行う。

令和5年9月19日
安来市長 田中武夫

平成26年2月に策定した「安来市都市計画マスタープラン」について、農業振興と整合性を図りつつ、今後見込まれる開発需要に対応するため、マスタープランの一部修正を行う。

現在、島根県により工事が進められている主要地方道安来木次線（切川バイパス）の開通により見込まれる、開発需要に対応しつつ、秩序ある土地利用を図るために全体見直しに先行して一部修正として決定する。

今後は切川バイパス周辺を、地区計画制度などを利用し、他法令との整合性を図りつつ、計画的な土地利用を進めて行く。

1、都市計画マスタープラン『将来市街地』の土地利用方針

◆修正前

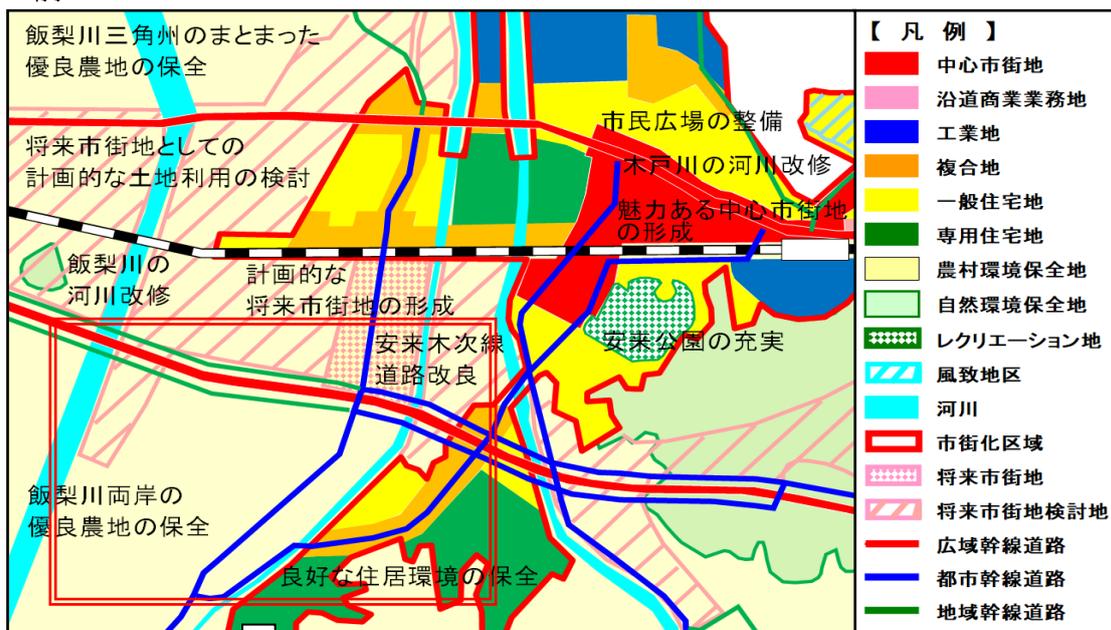
計画中の（主）安来木次線切川バイパス沿道の将来市街地では、教育・文化機能を配置し、安来市各地域の利便性を考慮した土地の有効利用を促進します。また、地区計画などによる沿道サービス系の土地利用を農業生産環境などにも配慮しながら進めます。

◆修正後

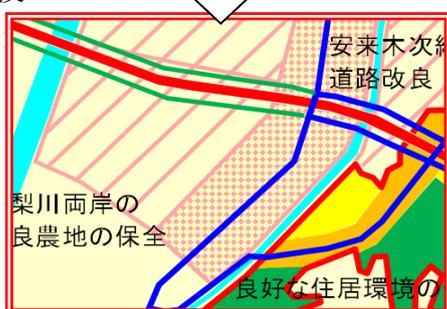
（主）安来木次線切川バイパス沿道の将来市街地では、教育・文化機能に加え、今後、商業施設や産業振興施設の立地を促進し、良好な市街地の形成を図ります。また、地区計画などによる沿道サービス系の土地利用を農業生産環境などにも配慮しながら進めます。

【都市計画マスタープラン『安来中海沿岸地域のまちづくり方針図』】

◆修正前



◆修正後



【一部修正箇所】

将来市街地、及び、将来市街地検討地の拡大